



28-12



28-30



30-2



28-16



29-10



30-3



29-1



30-4



29-12



29-15



30-9



29-11



30-10





河川1出土土器



河川1 出土土器



32-9



32-24



32-10



32-22



32-26



32-25



33-8



33-10



33-12



33-15



33-16



33-32



33-11



33-26



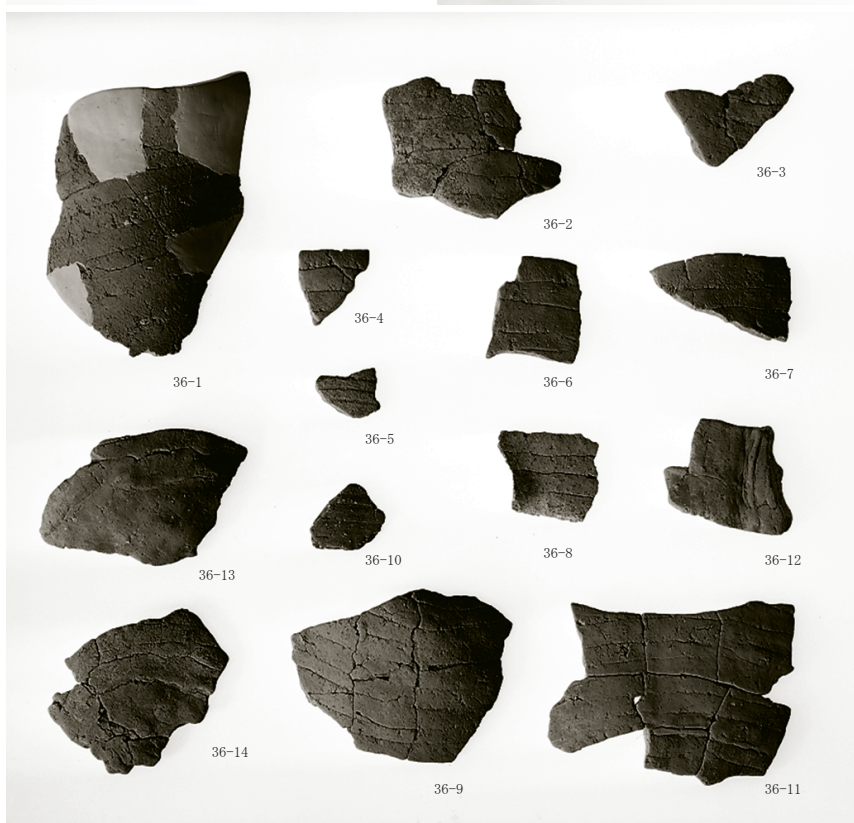
33-31



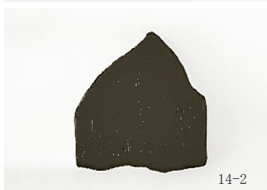
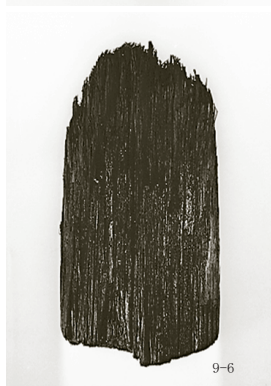
33-24



33-30



図版第一五 遺物





木製品・石器・ガラス小玉

報 告 書 抄 録

ふりがな	そねだいせき							
書名	曾根田遺跡							
副書名	地方道路交付金事業(道路改良)に伴う調査							
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第138集							
編著者名	田中祐二(編) 坪田聡子(編) 赤澤徳明							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL 0776-41-3644 FAX 0776-41-2494							
発行年月日	2013年3月22日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	〇' "	〇' "		m ²	
そねだいせき 曾根田遺跡	ふくいけん 福井県 みかたかみなかくん 三方上中郡 わかさちょうかみくろだ 若狭町上黒田	18501	32020	35° 30' 32"	135° 52' 08"	20070903 ～20071228 20081104 ～20081226 20090701 ～20090831	5,300	記録保存調査
遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
曾根田遺跡	集落	縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良・平安時代	掘立柱建物5 柱穴 溝 旧河道2	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器 製塩土器 木製品 石器・石製品 ガラス小玉		若狭地方ではじめて縄文時代晩期のまとまった資料が得られた。また、内陸部でありながら製塩土器が多く出土している。		
要約	曾根田遺跡は、鳥羽川の支流である黒田川によって開析された谷の開口部に立置する集落遺跡である。今回の発掘調査では、掘立柱建物5棟を確認したほか、かつての黒田川と推定される河道を検出し、比較的まとまった量の弥生土器や木製品を得ることができた。舞鶴若狭自動車道建設に伴う発掘調査の成果も踏まえると、旧黒田川の両側に弥生時代以降の集落が断続的に展開していたと考えられる。							

福井県埋蔵文化財調査報告 第138集

曽根田遺跡

— 地方道路交付金事業(道路改良)に伴う調査 —

平成25年3月8日 印刷

平成25年3月22日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒910-2152 福井市安波賀町4-10

印刷 株式会社リンクコーポレーション

〒910-0017 福井市文京1丁目18-15
